

題名 「カフエにぎやかな川へ」

私	が	提	案	す	る	の	は	、	上	カ	フ	エ	ブ	リ	ッ	シ
で	す	。	そ	れ	は	ど	う	い	う	も	の	か	と	い	う	と、
水	族	館	の	海	中	ト	ン	ネ	ル	の	よ	う	に	壁	を	透
そ	の	中	に	い	す	や	机	を	並	べ	、	カ	フ	エ	の	様
と	い	う	事	で	す	。	キ	ッ	チ	ン	な	ど	は	橋	の	下
す	る	と	い	い	と	思	い	ま	す	。						
	こ	の	ア	イ	デ	ア	が	生	ま	れ	た	き	ッ	か	け	は
疲	ッ	て	い	る	時	に	ふ	と	川	を	眺	め	た	ら	、	そ
気	は	な	く	、	し	ん	み	り	と	し	て	い	ま	し	た	。
私	は	、	ど	う	し	た	ら	人	が	集	ま	る	ん	だ	ろ	う
一	年	中	川	を	楽	し	む	方	法	を	考	え	、	カ	フ	エ
答	え	に	た	ど	り	着	き	ま	し	た	。					
	こ	の	カ	フ	エ	は	、	壁	が	透	明	な	の	で	、	景
し	み	な	か	ら	、	ゆ	ッ	た	り	と	で	き	ま	す	。	例
春	に	は	桜	を	、	夏	に	は	花	火	を	見	る	こ	と	が
す	。	さ	ら	に	、	桜	だ	け	に	限	ら	ず	、	四	季	折
し	め	る	植	物	を	植	え	れ	ば	秋	や	冬	に	も	景	色
む	こ	と	が	で	き	ま	す	。								
	そ	し	て	も	う	一	ッ	、	壁	が	透	明	な	こ	と	を
て		自	然	観	察	も	で	き	ま	す	。	乙	川	に	は	、
												夏	に	ッ		

は
め
冬
に
鴨
が
訪
れ
、
バ
ー
ド
ウ
オ
リ
チ
ニ
グ
に

最	取
適	
で	
す	。
さ	
ら	
に	
は	
カ	
フ	
エ	
を	
川	
に	
近	
い	
所	
に	

設	置	す	わ	ば		川	の	魚	の	様	子	も	観	察	か	で	き	ま	す
---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

そ	ね	に	加	え	て		カ	フ	エ	の	外	に	鳥	や	魚	へ	の	え	さ
---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

や	リ	コ	ー	ナ	ー	を	設	け	れ	ば、		フ	リ	乙	川	な	い	の	自
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	--	---	---	---	---	---	---	---	---

然
を
楽
し
む
二
と
か
で
き
る
の
で
は
な
い
か
と
思
い

[illegible]

ニ	
の	
と	
う	
に	
し	
て	
	「
水	
上	
か	
フ	
エ	
ブ	
り	
	「
ジ	
し	
は	

た	だ	瘦	る	た	め	だ	け	に	あ	っ	た	橋	を		ほ	っ	と	一	息
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	---

下	き	る	場	所	に	変	え	る	二	と	か	で	き	ま	す	。	ま	た	、
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

同時に自然も一緒には楽しむことはできない。

私のアイディアが実現すれば、カフエーに人が集

ま	り		乙	川	の	周	辺	か	に	ぎ	や	か	に	な	る	と	思	い	ま
---	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

す	。	そ	し	て	ニ	れ	を	通	し	て	岡	崎	市	民	の	憩	心	い	の	場
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

ひ	
ね	
あ	
い	
の	
場	
か	
増	
え	
て	
い	
	フ
た	
ら	
い	
い	
な	
と	
鬼	
い	

[illegible]